

山口市男女共同参画センター だより

平成28年10月号

発行:山口市男女共同参画センター
編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会
〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)
TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

新センター長就任あいさつ

山口市男女共同参画センター 所長 岡屋 勉



今年の7月1日付で就任いたしました。未熟者ですがよろしくお願ひします。

さて、国連が1976～1985年を国連女性の10年と定めて、女性差別の撤廃、女性の地位向上等を掲げて世界的な取り組みがなされてきました。日本では、

女子差別撤廃条約の署名、男女雇用機会均等法の施行等々、国内法の改正や法律の公布・施行と各種の基本計画が打ち出されて今日に至っています。

あれから約半世紀たった今、男女共同参画社会の進捗状況を見ると、女性軍の活動はかなりの成果をあげて、新たな課題にも積極的に取り組める土台ができつつあります。問題は男性軍の「男女共同参画意識」のカイカクが遅れている点にあると考えます。これは、歴史的に「男は外、女は内」的な考え方の下での、固定的役割分担意識の成せる弊害でしょう。



本センターでの、男性参加の講座においても、依然として寂しいものがあります。企画・運営する我々の努力不足や工夫改善等、大きな課題でもあります。

男も女も男女(みんな)が、活躍できる男女共同参画社会の実現には、女性だけでなく男性も仕事、家庭を大切に作る社会づくりを目指さなくてはなりません。職場での働き方、家庭での育児、料理や家事、休日の過ごし方など改善点は多々ありそうです。その元になるのが男のものの見方・考え方です。この改革なくして男の「男女共同参画意識」のカイカクはないと思います。早速各家庭、職場、地域社会で実践可能なことから始めて下さい。やってみましょう。そして、各種のイベントに男女でサンカクしていただくとしあわせませう。

当センターでは、講座やセンターイベントの開催のほか、研修派遣、情報提供、活動支援など色々な事業を行っています。是非、皆様の自主的・積極的参加をお願いします。

最後に、本年4月から施行された「女性活躍推進法」が、数字倒れ、目標倒れのきれいごと作業に終わることなく「柔軟な働き方改革」や「女性の社会進出」に質的な変革をもたらすことを期待しています。

室長就任あいさつ

山口市人権推進課 男女共同参画推進室 室長 藤本 浩毅



本年4月から男女共同参画推進室長として参りました。どうぞよろしくお願ひします。

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画することができ、男女が均等に

様々な利益を享受することができる社会のことです。しかしながら、市民意識調査では、男女の地位は平等になっているかという質問に対して、男性の方が優遇されているとの回答が7割を超えた結果となっています。また、就業に関しても、募集や採用条件、人事配置や昇給・昇進において、「男性が有利」という回答が「女性に有利」という回答よりも格段に高い調査結果となっていることを踏まえると、男女共同参画社会の実現に向けた取組みの強化・継続が

必要です。

平成27年8月には、働くことを希望する女性が希望に応じた働き方を実現できる社会とするため、事業主への女性活躍に関する行動計画の策定を義務づける「女性活躍推進法」が成立し、男女共同参画社会の実現に向けた取組みは新たな段階に入りました。市といたしましても、市民や市民団体、事業所の皆様との協働によって、男女共同参画の様々な取組みを推進してまいります。

山口市男女共同参画センターは、男女共同参画推進の拠点施設であり、様々な講座やセンターフェスティバルの開催、婦人相談員によるあらゆる相談への対応、参画団体の活動や交流を支援するためのスペースの提供、さらには関連図書やDVDの閲覧・貸出しも行っていきますので、是非、当センターをご活用ください。

“オナの本音 オトコの本音” 男女共同参画講座(全4回)

日時：5月28日(土)、6月18日(土)、7月16日(土)、
8月20日(土) 13:30～15:30

講師：〔第1・4回〕 山口大学経済学部教授
鍋山 祥子氏
〔第2回〕 山口大学教育学部准教授
松原 幸恵氏
〔第3回〕 山口大学国際総合科学部教授
マルク・レール氏

今年の男女共同参画講座は、「男女共同参画」を身近なものとしてとらえ、さまざまな場面での自分自身のジェンダー意識に気づいてもらうことを目的に開講されました。



第1回 ～日常に潜むジェンダー

初めに、次の質問から「らしさ」をあらためて考えました。

- ①女に生まれたから女らしくて当たり前？
- ②女の方が育児や介護が得意なのは当たり前？
- ③当たり前なのにどうしてツライんだろう？

身体的な性差「セックス」に対し、文化的・社会的につくられた性差を「ジェンダー」といいます。「女らしさ」や「男らしさ」をつくり出しているのがジェンダーなのです。ジェンダーは周囲や社会の影響を受けて変化する上、単なる思い込みや根拠のないものも多くあります。「男は仕事、女は家事育児」という性別役割分業の考え方はまさにジェンダーから生まれたもので、さまざまな形で社会に根強く潜んでいます。性別役割分業は男性の長時間労働や女性の貧困などの弊害を引き起こし、各人が経済的・精神的・ケア的に自立することを阻害しているため、このままでは社会は立ち行かなくなると危惧されているのです。

第2回 ～憲法にみる男女～

第2回では、国の最高法規である憲法が、14条（法の下での平等）と24条（家族条項）、13条（個人の尊重）

によって、あらゆる差別の禁止と、ライフスタイルの多様性を一人ひとりに保障していることを学びました。そして性別による格差をなくし、個人の生き方が尊重されるためには、性別役割分業観を変える必要があることを再認識しました。

第3回 ～メディアにみる男女～

第3回は、世相を切り取るメディアがジェンダーをどのように描いているかについて取り上げました。メディアのなかでも雑誌や広告・CMといった商業メディアは商品マーケットと強く結びついており、例えば、男性対象であればクルマ・旅、女性対象であればファッション・コスメなどというふうに、ターゲットとコンテンツが切り離せない関係にあります。このように、ジェンダーのステレオタイプを色濃く反映し、それを増強してきたのがメディアなのです。

第4回 ～自分の隠れた意識に気づこう～

最終回では、まず「女なら…」「男なら…」と言われて思いつく言葉を皆で出し合ってみました。その結果、「女は優しく」「男は大胆に」といった「役割期待」が皆の意識のどこかしらに刷り込まれていることがわかりました。この「役割期待」が「男は仕事、女は家事」という性別役割分業と結びついてジェンダーの問題を根深いものになっているのです。

4回の講座を通して、「女らしさ、男らしさ」は、今や意識するしないにかかわらず日常生活のさまざまな場面（仕事、教育、家事など）に入り込んでいくことに、あらためて気づかされました。私達が自分自身の中にある「らしさ」の常識を疑ってみたり、法によって守られている個人の尊重に照らして、「女性」や「男性」をめぐる理不尽や疑問に気づくことこそが、ジェンダーの問題に立ち向かう第一歩なのだということがよく理解できました。



イクメンセミナー ～男もつらい!? パパの家事育児泣き笑い～ (全3回)

(第1・2回) 日時：7月9日(土)、23日(土)
13:30～15:30

講師：ファザーリングジャパン関西理事
天野 勉氏

(第3回) 日時：8月6日(土) 10:00～14:00

講師：栄養士 上杉 照子氏

昨年のイクメン講座が好評だったことを受け、今年は男性対象で、再び天野勉さんを講師にワークショップを2回行い、最終回を料理教室としました。

第1回&第2回

第1回は多様な生き方の選択と実現を可能にするワークライフバランスが中心テーマです。自分で仕事と家庭のバランスを決め、それに自分が納得しているか。家事も育児も「分担しなくてはならない」では堅苦しいけれど、楽しさも大変さも夫婦で「共有」することが大切だというお話でした。

それを受けて第2回は、夫婦の「共有」からスタート。「共有(シェア)」において大事なものはコミュニケーションです。でも、本当に相手のことがわかっていないかを考えると、意外な気持ちのギャップに気づかされます。お互いの気持ちや価値観(ソフト面)も、家事タスク(ハード面)も共有し、妻と夫が笑顔でお互いの夢を応援し合いたいものです。講義の後のフリートークでは、回を追う毎に本音も飛び出し、時にシリアスに時に笑顔でお互いに意見を交わしました。

ところで、今年のイクメンセミナーには、家に帰って子どもと楽しめるお楽しみコーナーも用意されました。第1回がバルーン、第2回が独楽。さて頑張って技を習得したお父さん達は、子ども達の人気者になれたかしら？

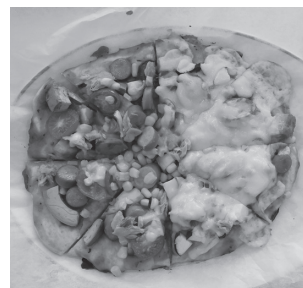


第3回

第3回「パパの料理教室」は、お父さん達が料理をつくり、家族とともに試食するというプログラム。男性が楽しんで作れて十八番にできるものということで決まった献立は、ピザ他3品にデザート(メロンのムース)です。家族のお昼ごはんがパパの腕にかかっているとあって、皆張り切って調理開始!

待ちに待った試食では、家族をまじえて達成感に満ちたパパ達と、食卓についたママや子ども達の満足気な様子、そしてなんといってもおいしい料理を囲んだ皆さんの笑顔でとてもよい料理教室になりました。

このイクメンセミナーを通じて、妻との関係、家族との関係を少し違う角度から見直すことができたのではないかと思います。世に定着した「イクメン」イメージが単なる理想論やプレッシャーで終わることなく、真の家庭での男女共同参画を叶えるものとなるために、この講座が少しでも役立ててもらえればと期待しています。



第7回

山口市男女共同参画センター フェスティバル

主催/山口市・山口市男女共同参画ネットワーク

要申込
入場無料
※裏面をご覧ください。

2016年11月23日 水祝 10:00~15:00
会場 山口市市民会館 小ホール・展示ホール / 山口市男女共同参画センター



放送作家
鈴木 おさむ 氏

講演会

13:00
15:00
(12:00開場)

山口市市民会館
小ホール

笑う家族に福きたる？

手話通訳あり 要約筆記 託児無料(要予約)

1972年生まれ、千葉県千倉町出身。高校時代に放送作家を志し、19歳で放送作家デビューする。バラエティを中心に数々のヒット番組を手がける。エッセイ「ブスの瞳に恋してる」シリーズがベストセラーになる。2002年 森三中の大島美幸と結婚し、2015年 第一子が誕生。2009年「いい夫婦の日」パートナー・オブ・ザ・イヤーを受賞。映画「ONE PIECE FILM Z」、「新宿スワン」、ドラマ「生まれる。」を脚本。小説「芸人交換日記～イエローハーツの物語～」、「名刺ゲーム」を執筆。舞台の作演出、ラジオパーソナリティ等で幅広く活躍。

山口市男女共同参画センター | 10:00~11:30
子育てワークショップ「親子で学ぶ防災セミナー」
講師：NPO法人兵庫県防災士会 横山 恭子氏
センター登録団体活動発表

山口市市民会館 展示ホール | 10:00~15:00
団体活動紹介パネル展示

お申込 | 山口市男女共同参画センター TEL.FAX.083-934-2841
お問合せ | Email mw3kaku@c-able.ne.jp HP http://www.y-djc.com
手話通訳あり 要約筆記 託児無料(要予約)